# 目次


目次 ..... 1
安全上のご注意 ..... 2
使用上のご注意 ..... 10
*安全に関する情報 ..... 10*
*安全事項について ..... 11*
*目の安全に関する警告 ..... 13*
はじめに ..... 14
*製品の特長 ..... 14*
*パッケージ内容 ..... 15*
*製品の各部名称 ..... 16*
*本体 ..... 16*
*コントロールパネル ..... 17*
*接続端子 ..... 18*
*リモコン ..... 19*
インストール ..... 20
*プロジェクタの接続 ..... 20*
*プロジェクタの電源オン/オフ ..... 21*
*プロジェクタの電源をオンにする ..... 21*
*プロジェクタの電源をオフにする ..... 22*
*警告インジケータ ..... 22*
*投影された映像の調整 ..... 23*
*プロジェクタの高さを調整する ..... 23*
*プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する ..... 24*
*画面サイズと投射距離の目安 ..... 24*
ユーザーコントロール ..... 25
*コントロールパネルおよびリモコン ..... 25*
*オンスクリーン・ディスプレイメニュー ..... 28*
*操作方法 ..... 28*
*メニューツリー(階層) ..... 29*
*イメージ ..... 30*
*ディスプレー ..... 34*
*セットアップ ..... 37*
*システム ..... 40*
付録 ..... 44
*故障かなと思ったら ..... 44*
*画像の問題 ..... 44*
*中断の問題 ..... 46*
*プロジェクタステータスに関する指示 ..... 47*
*リモコンの問題 ..... 48*
*ランプの交換 ..... 49*
*互換モード ..... 50*
*RS232のコマンドとプロトコル機能リスト ..... 51*
*天井への取り付け ..... 54*
*Optoma 社 お問い合わせ先 ..... 55*
*規制と安全に関するご注意 ..... 57*

# 安全上のご注意

## ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 「安全上のご注意」の絵表示

| ⚠警告 | ⚠注意 |
|---|---|
| この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

# 安全上のご注意

## 注意 ⚠

| | |
|---|---|
| 禁止 | 本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。<br>故障の原因となることがあります。<br>● 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）<br>● 湿気が多いところやホコリが多いところ<br>● 直射日光があたるところ<br>● 温湿度差の激しいところ<br>● 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）<br>● 腐食性ガス、油煙の中<br>● 静電気の影響が強いところ<br>● 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）<br>● 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、ス　ピーカなどの近く）<br>● 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所<br>● 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません） |
| 禁止 | 本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。<br>● 落としたり、衝撃を加えない<br>● 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない<br>● 重いものを上にのせない<br>● 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない |
| 厳守 | ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。 |

# 安全上のご注意

| | |
|---|---|
| 厳守 | 長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。 |
| 禁止 | 排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。 |
| 禁止 | ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。 |
| 厳守 | ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。 |
| 厳守 | ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。 |
| 禁止 | 指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。 |
| 厳守 | 電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。<br>電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。 |
| 厳守 | 取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。 |
| 注意 | 本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。<br>故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。 |

# 安全上のご注意

## 警告 ⚠

| | |
|---|---|
| 厳守 | 煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。 |
| 水濡れ禁止 | 本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。 |
| 厳守 | 本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。 |
| 禁止 | 本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 |
| 禁止 | 本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。<br>火災の原因となることがあります。 |
| 厳守 | 温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。 |
| 分解禁止 | 改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。<br>火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。 |
| 禁止 | 本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。 |
| 禁止 | ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。<br>そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。 |
| 禁止 | 使用中はレンズをのぞかないでください。<br>レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。 |

# 安全上のご注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。<br>目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。 |
| 禁止 | 本製品は下記のようなところで使用しないでください。<br>故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。<br>● ほこりの多いところ<br>● 振動や衝撃の加わるところ<br>● 不安定なところ<br>● 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ<br>● 温度差の激しいところ<br>● 水分や湿気の多いところ<br>● 温度が高いところ |
| 禁止 | 使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。<br>やけどの原因になりますので、触らないでください。 |
| 厳守 | ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。 |
| 禁止 | ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。<br>● 引っ張ったり、折り曲げたりしない<br>● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない<br>● 加工しない<br>● 熱器具のそばで使わない |
| 厳守 | 電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。 |
| 厳守 | 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。 |

# 安全上のご注意

| | |
|---|---|
| <br>禁止 | 電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。<br>● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。<br>● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。 |
| <br>厳守 | 電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。 |
| <br>禁止 | +）（−）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。 |
| <br>厳守 | 電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。 |
| <br>禁止 | 電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。<br>液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。 |
| <br>厳守<br> <br>注意<br> <br>発火注意 | 電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。<br>● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください<br>● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。<br>● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。<br>● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。 |
| <br>厳守 | 本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。 |

# 安全上のご注意

## 設置場所について

本プロジェクターは300 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

## 見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

## お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

## 廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

# 安全上のご注意

## ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

## その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windous XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 使用上のご注意

## 安全に関する情報

| | |
|---|---|
| | 正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の狂態内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」があることをユーザーに警告するものです。 |
| | 正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに重要な操作およびメンテナンス(アフターサービス)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。 |

**警告:**感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

### Class B放出制限

このClass Bデジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

### 大切な安全に関する指示

1. このプロジェクタを使用する前に、これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を保管して、必要に応じて参照してください。
3. すべての指示に従ってください。
4. 製造元の指示に従って取り付けを行ってください。
   **A. 換気孔を塞がないでください**
   プロジェクタの安全な操作を確保するために、また過熱から保護するために、プロジェクタは適切な換気を妨害しない位置や場所に設置してください。例えば、プロジェクタをベッド、ソファ、カーペット、または換気孔を防ぐ可能性のある類似表面の上に置かないでください。換気孔から空気の流れを阻止する可能性のある本箱やキャビネットなどの、囲われた場所に本機器を設置しないでください。
   **B. このプロジェクタを水気や湿気のあるところで使用しないでください**。火災や感電の原因となるため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。
   **C.** ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器**(**アンプを含む**)**など、**熱源の傍に取り付けないでください**。
5. 乾いた布で拭いてください。
6. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
7. アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。プロジェクタが以下のどれかが原因で損傷したとき、アフターサービスが必要となります。
   - 電源装置のコードまたはプラグが損傷した。
   - 液体がこぼれた、または物体が機器の内部に落ちた。
   - プロジェクタが雨や湿気にさらされた、正常に作動しない、または落とした。

   お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。最寄りの正規サービスセンターについては、Optomaまでお電話でお問い合わせください。
8. プロジェクタ内部に物体や液体が入らないようにしてください。危険な電圧ポイントやショートしやすい部品に触れ笠井や感電の原因となります。
9. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
10. プロジェクタは適切な資格を持ったサービススタッフ以外には、調整または修理することができません。

# 使用上のご注意

## 安全事項について

*この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。*

■■ 警告- ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

■■ 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。

■■ 警告- プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

■■ 警告- ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。詳細は49ページをご参照ください。

■■ 警告- 本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

■■ 警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの「システム | ランプの設定」にある「ランプリセット」機能をリセットしてください（43ページを参照してください）。

■■ 警告- プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したのを確認してから電源コードを抜いてください。90秒間プロジェクタを冷却してください。

■■ 警告- プロジェクタが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。

■■ 警告- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプを交換してください」というメッセージが表示されます。できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

Note

ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。「ランプの交換」（49ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

# 使用上のご注意

### *推奨事項:*

- お手入れをするときは、プロジェクタの電源を切ってください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### *禁止事項:*

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端な高温、低温、高湿のとき。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

# 使用上のご注意

## 目の安全に関する警告

- プロジェクタの光源を直接注視しないでください。
- プロジェクタの光源に向かって立たないでください。出来る限り、離れてください。
- プレゼンテーションする時のランプ パワーを節約するために、部屋の明るさは出来るだけ、暗くしてください。

## 製品の特長

本製品は、*1080p* シングルチップ *0.95 DLP®*プロジェクタです。以下のような優れた機能を備えています。

- ネーティブ 16:9 1080p DLP® テクノロジ
- 完全な10ビットビデオ処理(復号化、デインタレース、スケーリング、イメージエンハンスメントおよびカラー)
- 7セグメントのカラーホイール R/G/B/ND/R/G/B サイクルを使用
- PixelWorks™ ビデオプロセッサチップ
- スタジオグレードの 480i/576i 標準定義デインタレースおよび 1080i 高精細度デインタレース
- ビデオ互換性:
  - 480i-NTSC, NTSC4.43
  - 576i-PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
  - SDTV互換 (480i/p、576i/p)
  - HDTV互換 (720p、1080i/p)
  - RGB信号:HD、XGA、SVGA、VGAリサイズ
- Macintosh互換
- 全機能対応 赤外線リモコン(バックライト付)
- 高度垂直デジタルキーストン補正(台形補正)および高品質フルスクリーン画像リスケール
- 操作が簡単なコントロールパネル
- Optoma の特許出願中$O_2$Air™ Photo Catalyst空気浄化技術
- HDMI & DVIはHDCP 機能をサポートします。
- HDMI(HDMI 1.3 のサポート) x2、DVI-I (HDMI 1.1、SCART、HDTV のサポート) x1、YPbPr (RCA) x1、Sビデオ x1、コンポジット x1

## パッケージ内容

*本パッケージには、プロジェクタ本体および以下の付属品が含まれます。まず、すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。*

レンズキャップ付プロジェクタ

電源コード（1.8m）

RS232ケーブル（1.8m）

RCA コンポーネントケーブル（YPbPr用2.0m）

IRリモコン

単三電池（2本）

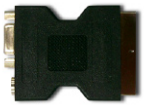
**Note**

付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

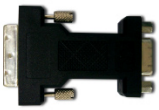
**Note**

国により梱包されているアイテムが異なります。

### ヨーロッパ地域のみ



SCART RGB/S-ビデオアダプタ



DVI対VGAアダプタ

VGAケーブル（1.8m）

**文書：**

- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ クイックスタートカード

**電源コードについて注意事項：**

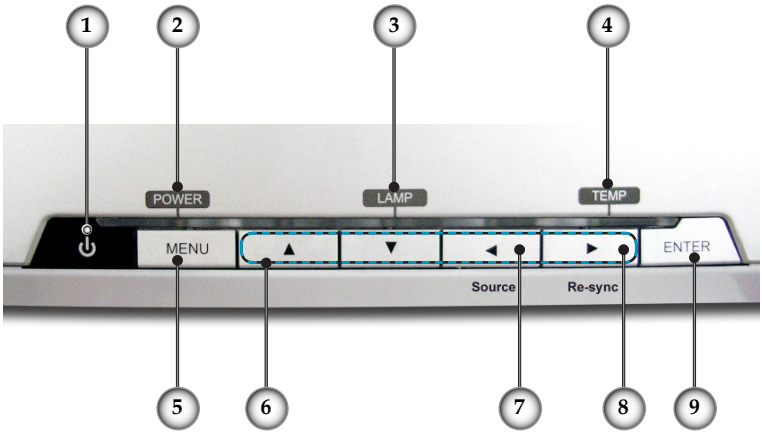
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様（AC100V）になりますので、海外での使用できません。

## 製品の各部名称

### 本体

1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. フォーカスリング
4. エレベータボタン（両側各1個）
5. エレベータフット
6. ズームレンズ
7. 赤外線レシーバー
8. 接続端子
9. 電源ソケット
10. チルト調整フット
11. 排気装置の通気口

## コントロールパネル



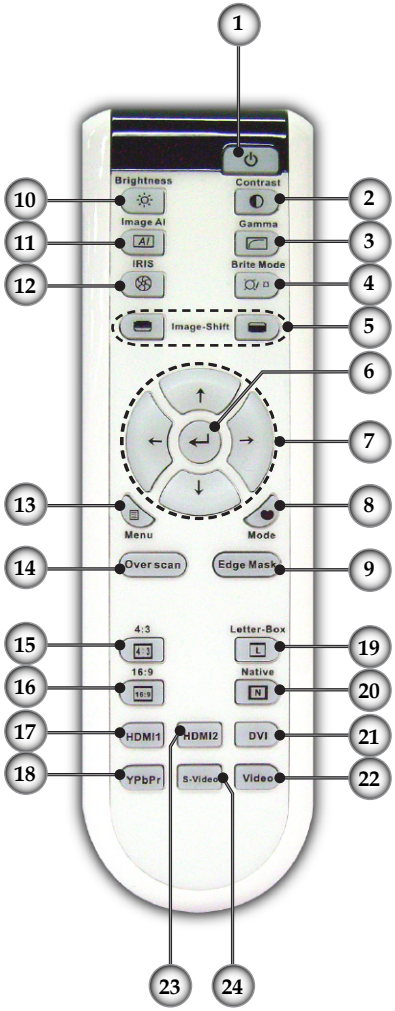

1. 電源およびIRレシーバー
2. 電源インジケータLED
3. ランプインジケータLED
4. 温度インジケータLED
5. Menu（オン/オフ）
6. 4方向選択キー
7. ソース選択
8. Re-Sync（再同期）
9. Enter

## 接続端子

1. +12Vリレー端子
2. コンポジットビデオ入力端子
3. RS232入力コネクタ
4. S-VIDEO入力端子
5. DVI-I入力端子（PCデジタルおよびDVI-HDCP入力）
6. HDMI 1コネクタ
7. HDMI 2コネクタ
8. コンポーネントビデオ入力端子
9. 電源ソケット
10. ケンジントンMicrosaver™ロックポート

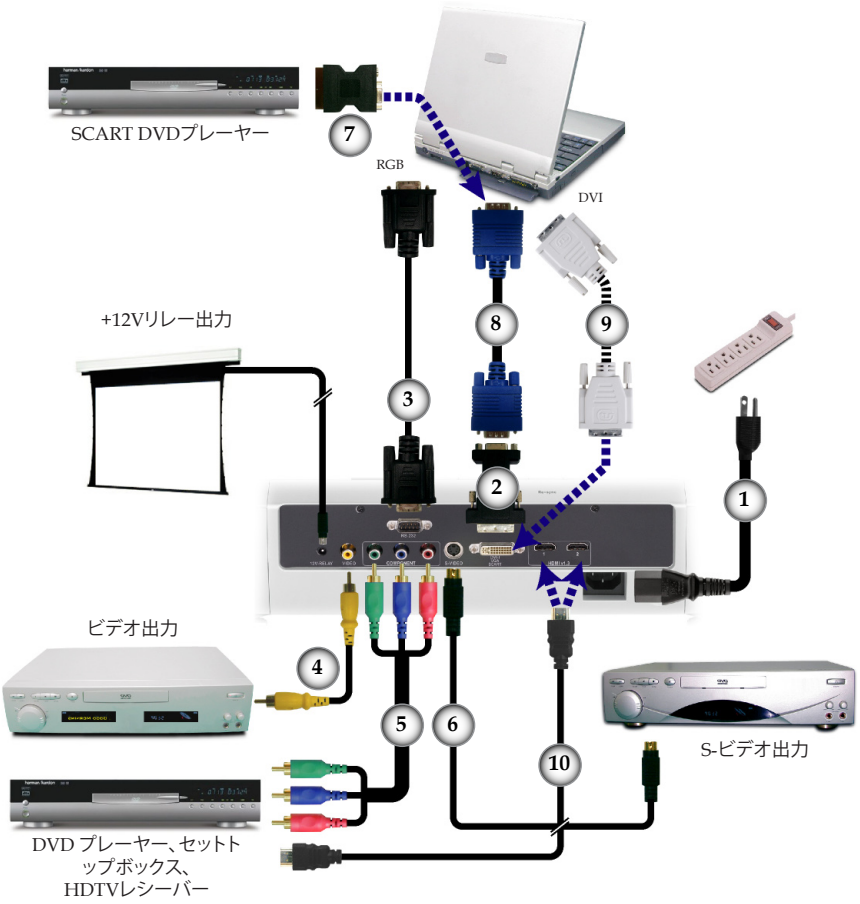
## リモコン

1. 電源 (オン/オフ)
2. コントラスト
3. ガンマ
4. ブライト モード
5. イメージシフト
6. Enter
7. 4方向選択キー
8. ディスプレーモード
9. エッジ マスク
10. 輝度
11. イメージ AI
12. IRIS
13. Menu
14. Overscan
15. 4:3
16. 16:9
17. HDMI1ソース
18. YPbPrソース
19. LBX
20. Native
21. DVIソース
22. コンポジットビデオソース
23. HDMI2ソース
24. S-ビデオ



# インストール

## プロジェクタの接続




Note

付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1. 電源コード
2. DVI対VGAアダプタ（ヨーロッパ地域のみ）
3. RS232ケーブル
4. コンポジットビデオケーブル（オプションのアクセサリ）
5. RCA コンポーネントケーブル（YPbPr用）
6. S-VIDEOケーブル（オプションのアクセサリ）
7. SCART RGB/S-ビデオアダプタ（ヨーロッパ地域のみ）
8. VGAケーブル（ヨーロッパ地域のみ）
9. DVIケーブル（オプションのアクセサリ）
10. HDMIケーブル（オプションのアクセサリ）

# プロジェクタの電源オン/オフ

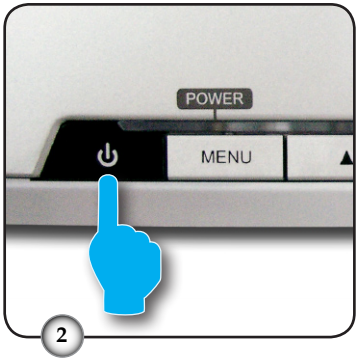
## プロジェクタの電源をオンにする

1. レンズキャップを取り外します。❶
2. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。正しく接続されている場合は、電源LEDが赤く点灯します。
3. コントロールパネルの「⏻」ボタンを押して、ランプの電源をオンにします。❷ 電源LEDが青に変わります。
   起動画面は約30秒後に表示されます。初めてプロジェクタを使用するとき、起動画面が表示された後にクイックメニューから好みの言語を選択することができます。
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクタは「セットアップ」メニュー内でソースを自動的に検出します。「ソースロック」が「オフ」に設定されていることを確認してください。

■ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの [ソース] ボタンを押すか、またはリモコンのソースボタンを押すと入力を切り換えることができます。

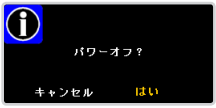
Note

まずプロジェクタの電源を入れた後、信号入力源を選択してください。



## プロジェクタの電源をオフにする

1. 「⏻」ボタンを押してプロジェクタのランプの電源を切ると、メッセージがプロジェクタの画面に表示されます。




「⏻」ボタンをもう一度押して確認します。ボタンを押さなければ、5秒後にメッセージが消えます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約60秒間動作を続け、その間電源LEDは青で点滅します。ライトが赤く点灯すると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了し、それからスタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクタを再起動させることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

## 警告インジケータ

- 「LAMP ( ランプ )」インジケータが赤く点灯すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。詳細は55ページをご参照ください。

- 「TEMP」インジケータが赤く点滅した場合は、プロジェクタが過熱状態であることを意味します。プロジェクタの電源が自動的に切れます。
  通常の条件下で、プロジェクタは冷却した後再び電源を入れることができます。それでも問題が解決されない場合、最寄りの代理店またはサービスセンターに連絡する必要があります。詳細は55ページをご参照ください。

- 「LAMP ( ランプ )」インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。最寄りの代理店またはサービスセンターにご連絡ください。詳細は55ページをご参照ください。

# 投影された映像の調整

## プロジェクタの高さを調整する

*本プロジェクタには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。*

映像を上に移動するには：

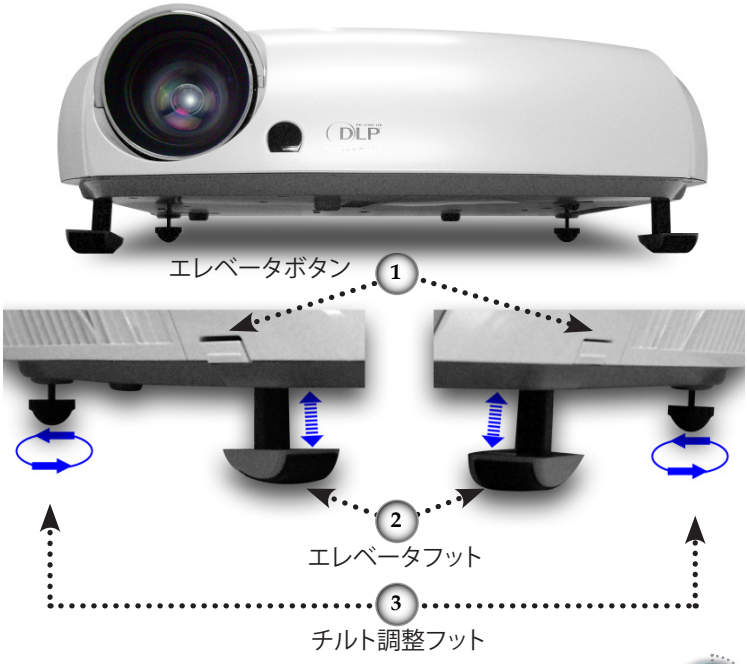
1. エレベータボタン ❶ を押します。
2. 映像をご希望の高さ（角度）❷ になるまで上げたらボタンから手を離し、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フット ❸ のネジを回して調節してください。

映像を下に移動するには：

1. エレベータボタンを押します。
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで下げたらボタンから手を離し、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フット ❸ のネジを回して調節してください。

Note

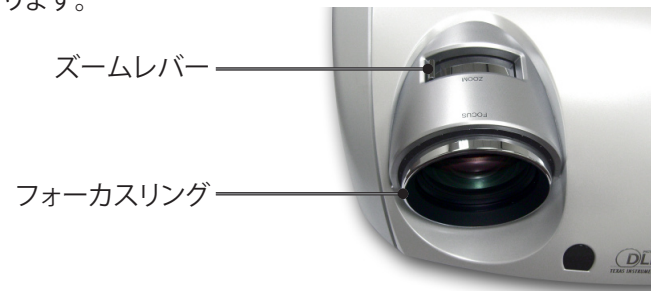
投影後の調整は前面の排気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。



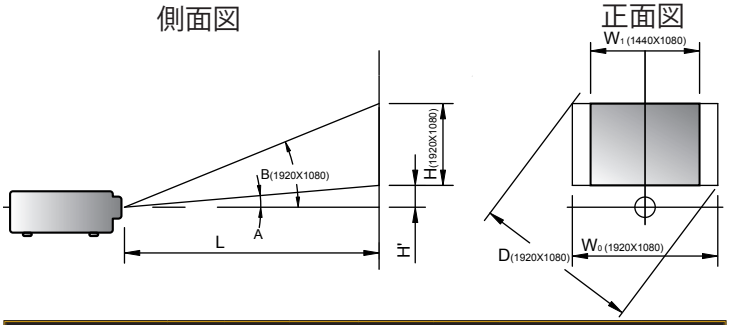
# インストール

## プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

ズームレバーを使い、ズームレンズを外または中に動かします。フォーカスを調整するには、フォーカスリングを回し、鮮やかな映像になるようフォーカスを調整します。プロジェクタは1.5～12.0メートルの距離でピントが合い、投射スクリーンサイズは16:9モードでメカニカル移動を使い0.775m～7.62 mになります。




## 画面サイズと投射距離の目安




| 投影比 (TR)=1.85 (ワイドモード) | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A=6.25° | B (1920x1080)=22.47° | | | $W_0$ (1920x1080)=L/TR | | | | |
| H'=L X tan(A) | | | | $W_1$ (1440x1080)=$W_0$ (1920x1080) X 0.75 | | | | |
| H (1920x1080)=$W_0$ (1920x1080) X 0.56 | | | | H (1440x1080)=$W_1$ (1440x1080) X 0.75 | | | | |
| Display Format (ディスプレー方式) | A | B | L (cm) | W (cm) | H (cm) | H' (cm) | D (cm) | D' (in) |
| 16:9 (1920x1080) | 6.25 | 22.47 | 245.73 | 132.83 | 74.72 | 26.90 | 152.40 | 60.00 |
| 4:3 (1440x1080) | 6.25 | 22.47 | 245.73 | 99.62 | 74.72 | 26.90 | 124.53 | 49.03 |
| 投射距離(M) | | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 5.0 | 6.0 |
| スクリーンサイズ 16:9(インチ) | 最大 | 48.8 | 61.0 | 73.3 | 85.5 | 97.7 | 122.1 | 146.5 |
| | 最小 | 40.7 | 50.9 | 61.0 | 71.2 | 81.4 | 101.7 | 122.1 |
| スクリーンサイズ 4:3(インチ) | 最大 | 39.9 | 49.9 | 59.9 | 69.8 | 79.8 | 99.8 | 119.7 |
| | 最小 | 33.3 | 41.6 | 49.9 | 58.2 | 66.5 | 83.1 | 99.8 |

**Note**

投影後の調整は前面の排気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。

**Note**

1フィート=0.3m、
1インチ=2.54cm 。

# ユーザーコントロール

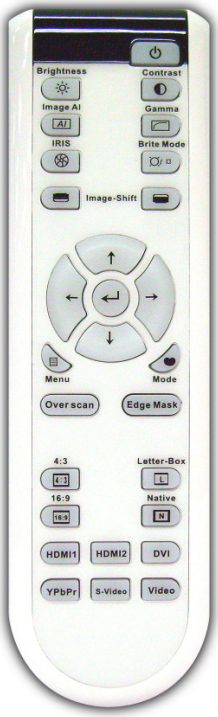
## コントロールパネルおよびリモコン

*機能を設定する方法は、次の2通りあります：コントロールパネルおよびリモコン。*

### コントロールパネルのボタン

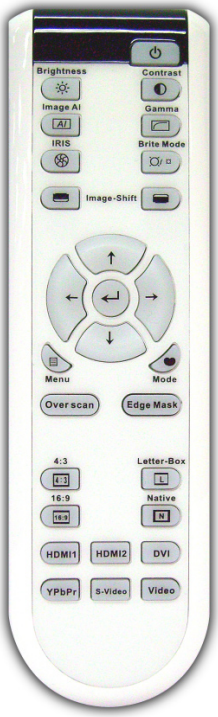
| | |
|---|---|
| **⏻ 電源** | 21～22ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」を参照してください。 |
| **Source（ソース）** | 「ソース」を押してDVI、RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-i、S-VIDEO、コンポジットビデオ、HDTVおよびHDMIソースを選択します。 |
| **Menu** | 「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「Menu」を再び押します。 |
| **4方向選択キー** | ▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。 |
| **Enter** | 選択した項目を確定します。 |
| **Re-Sync（再同期）** | プロジェクタを自動的に入力ソースと同期化します。 |

# ユーザーコントロール




| リモコンのボタン | |
|---|---|
| **⏻ 電源** | 21～22ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」を参照してください。 |
| **☼ 輝度** | 画像の輝度を調整します。 |
| **◐ コントラスト** | 画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。 |
| **AI イメージ AI** | イメージAI機能のオン/オフを切り換えます。(40～41ページを参照してください) |
| **ガンマ** | 10のガンマカーブがプリセットされています。初期セットアップと微調整が完了すると、ガンマ調整ステップを使用して画像出力を最適化します。 |
| **IRIS** | 詳細は、41ページの「IRIS」機能をご参照ください。 |
| **☼/☼ ブライトモード** | 画像の輝度を上げます。(43ページを参照してください) |
| **/ イメージシフト** | 投影された画像位置を垂直に移動します。 |
| **Edge Mask (エッジ マスク)** | 「オン」を選択して表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。エッジソースが表示可能なイメージの傍で符号化エラーが発生する場合、エッジマスク「オン」を使用します。 |
| **● ディスプレーモード** | ディスプレーモードを、シネマ、ブライト、TV、sRGB、User の中から選択します。 |
| **Menu** | 「**Menu**」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「**Menu**」を再び押します。 |
| **4方向選択キー** | ↑↓←→ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。 |
| **↵ Enter** | 選択した項目を確定します。 |
| **Overscan** | 表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。画像ソースのディスプレー画像の端近くにノイズが出る場合、この機能を使用して調整します |
| **4:3 4:3** | 4:3のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。 |

# ユーザーコントロール




| | |
|---|---|
| **16:9** | 16:9のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。 |
| **Native** | 入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。 |
| **LBX** | 全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が2.35:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。 |
| **DVI** | 「DVI」を押してDVIコネクタからアナログとデジタル信号ソースを選択します。 |
| **HDMI1** | 「HDMI1」を押してHDMI1コネクタからソースを選択します。 |
| **HDMI2** | 「HDMI2」を押してHDMI2コネクタからソースを選択します。 |
| **YPbPr** | 「YPbPr」を押してコンポーネントビデオソースを選択します。 |
| **Video（ビデオ）** | 「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。 |
| **S-Video（S-ビデオ）** | 「S-ビデオ」を押してS-ビデオソースを選択します。 |

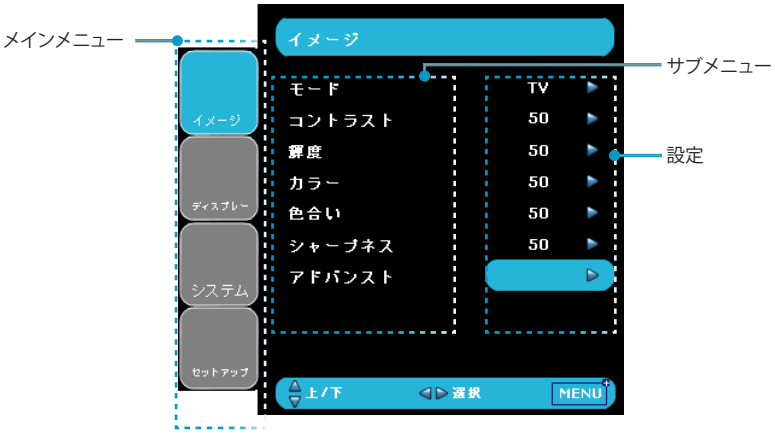
# ユーザーコントロール

## オンスクリーン・ディスプレイメニュー

*本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは自動的にソースを捜索（検出）します。*

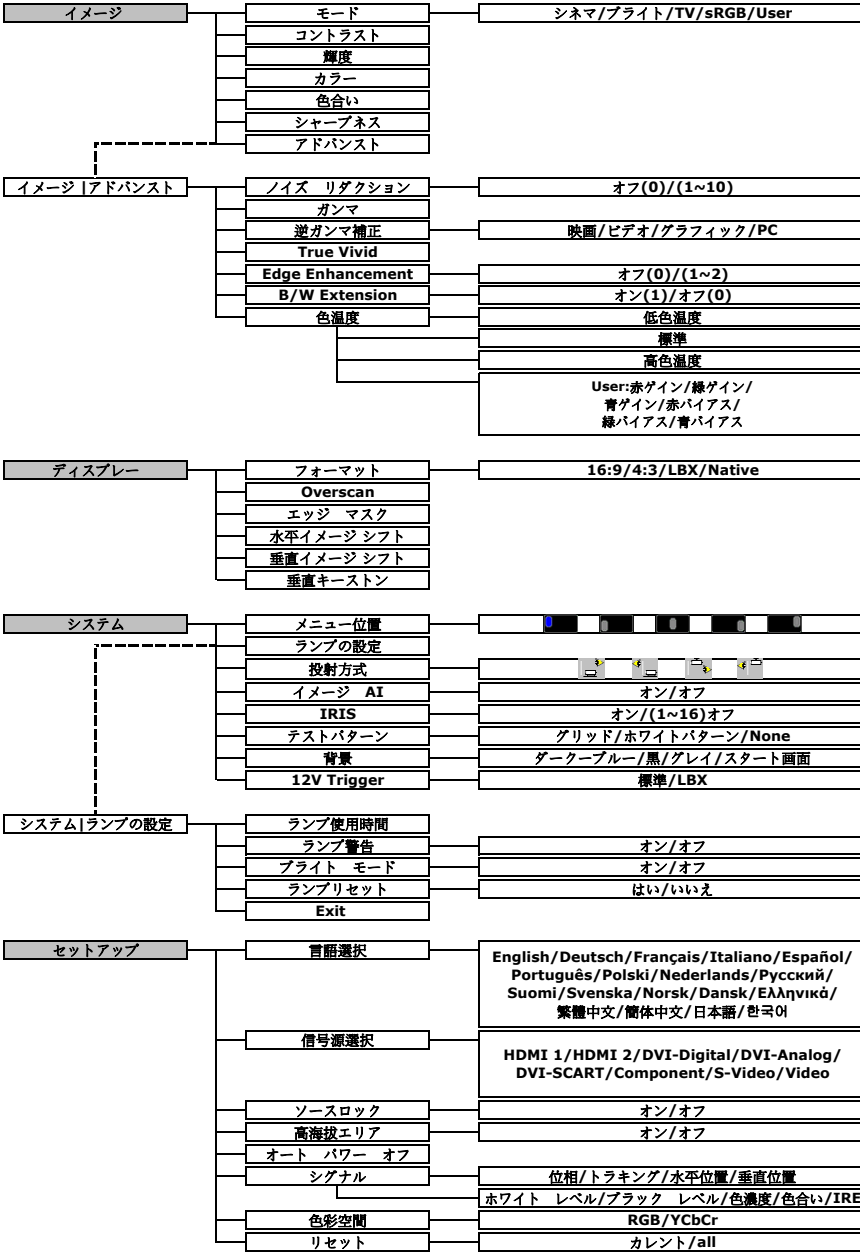
### 操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの「Menu」ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲ ▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶ または「Enter」キーを押してサブメニューに進みます
3. ▲ ▼ キーを使って目的の項目を選択し、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「Enter」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「Menu」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



# ユーザーコントロール

## メニューツリー（階層）



# ユーザーコントロール

## イメージ

### モード

さまざまな映像方式用に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- シネマ：ホームシアター用。
- ブライト：もっとも明るいイメージ用で、周辺光が存在する場合に使用します。
- TV：アナログまたはデジタルTVイメージ用。
- sRGB：標準カラー用。
- User：ユーザーの設定を記憶。

Note

「イメージモード-->TV」はデフォルトとして、ステップ「2」で「Overscan」を自動的にサポートします。

### コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶を押すとコントラストが強くなります。

### 輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

### カラー

ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀を押すと画像の色の量が減少します。
- ▶を押すと画像の色の量が増加します。

# ユーザーコントロール

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

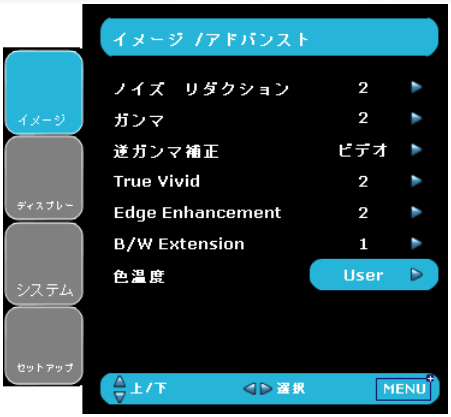
- ◀を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すとシャープネスが下がります。
- ▶を押すとシャープネスが強くなります。

# ユーザーコントロール




## イメージ | アドバンスト

### ノイズ　リダクション

モーション適応ノイズリダクションは、目に見えるノイズインタレース信号の量を削減します。範囲は「0」から「5」の間です。(0: オフ)

### ガンマ

この総sちには、10のプリセットガンマカーブが付いています。初期セットアップと微調整が完了すると、ガンマ調整ステップを使用して画像出力を最適化します。

### 逆ガンマ補正

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

- 映画：ホームシアター用。
- ビデオ：ビデオまたはTVソース用。
- グラフィック：イメージソース用。
- PC：PCまたはコンピュータソース用。

### True Vivid

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して、映像の鮮明さを大幅に増しています。範囲は「0」から「3」の間です。

### Edge Enhancement

アドバンストエッジ強調フィルタに対しては、3つのプリセットモードと1つのユーザーモードがあります。モードを切り替えて、異なる効果を出すことができます。(0: オフ)

### B/W Extension

白黒拡張は黒と白のレベルを引き伸ばして、入力画像のコントラストを自動的に上げます。この装置には2つのプリセットモードがあ

Note

ソースがHDMIであるとき、「B/W Extension」はDVI ポートを介して、アナログまたはデジタルRGBをサポートできません。

り、プリセットを切り替えて異なるイメージ効果を得ることができます。(0: オフ/1: オン)

## 色温度

色温度を調整します。高色温度 (温度が"低いと)、青みの強い冷たい雰囲気の映像になり、低色温度 (温度が高いと)、赤みの強い暖かい雰囲気の映像になります。

1) ユーザーモード調整の場合、「User」にカーソルを置き、「Enter」を押してこの調整項目を選択します。

2) 「▲」、「▼」を使って目的の調整項目を強調表示し、「Enter」または「▶」を押してその項目を選択します。メニューが消え、調整バーのみが表示されます。

3) 「◀」、「▶」矢印キーを使って、イメージを調整します。

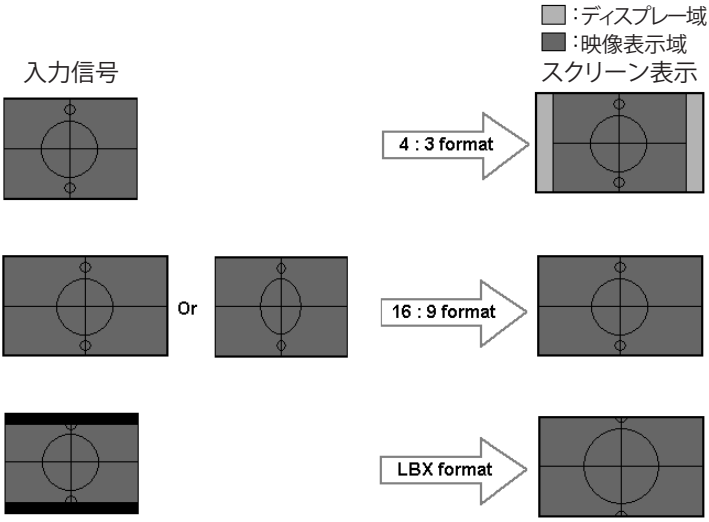
# ユーザーコントロール

## ディスプレー

### フォーマット

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3：このフォーマットは4x3入力ソース用で、ワイドスクリーンTV用に機能強化されていません。
- 16:9：このフォーマットはワイドスクリーンTV用に機能強化されたHDTV および DVDなどの、16x9入力ソース用です。
- Native：このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。



# ユーザーコントロール

- LBX：16x9ではないLetterBoxソースを投写する場合や、16x9外部レンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。

LBXモードに関する詳細情報：

1. 16x9 TV用に強化されていないレターボックスDVDも一部にあります。この場合、16:9モードで表示されるとき、イメージは正しく表示されません。

   この場合、4:3モードを使用してDVDを表示してみてください。

   しかし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレーの画像の回りに黒いバーが表示されます。この種類のコンテンツの場合、LBXモードを使用して画像を16x9ディスプレーに可能な限り表示することができます。

2. 外部16x9レンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。

   この場合、黒いバーは表示されず、完全なランプパワーと垂直解像度を最大限に活用して最大の表示効果が達成されます。

   これら2つの場合以外は、ほとんどの表示体験の場合、16:9と4:3モードのままにしておく必要があります。

## Overscan

オーバースキャン機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをオーバースキャンしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

## エッジ マスク

- ◀を押すと映像のサイズが小さくなります。
- ▶を押すとスクリーンに投写された映像が拡大します。

## 水平イメージシフト

投影された画像位置を水平に移動します。

## 垂直イメージシフト

投影された画像位置を垂直に移動します。

**Note**

(*) それぞれのI/Oには、「Overscan」の異なる設定があります。

(*) 「イメージモード-->TV」は、ステップ「2」として「Overscan」を自動的に設定できます。

(*) 「Overscan」と「エッジ　マスク」は、同時に作動できません。

(*) 「水平イメージ シフト」は、フォーマット「4:3」および「Native」でのみサポートされます。ソースが1080i/pの場合、「水平イメージ シフト」はフォーマット「4:3」でのみサポートされます。

垂直キーストン

◀または▶を押すと、画像の垂直の歪みが調整されより正方形に近い画像が得られます。

# ユーザーコントロール

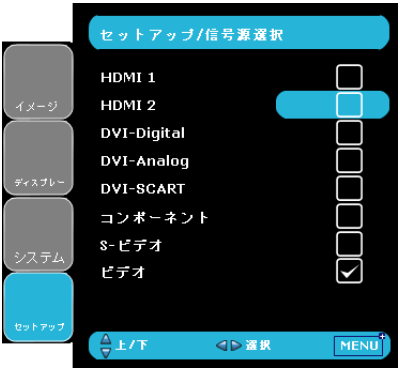
## *セットアップ*

### 言語選択

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの◀または▶を押し、▲または▼キーを使ってお好みの言語を選択します。「選択 (Enter)」を押して選択を終了します。

### 信号源選択

信号源選択をオンにします。◀または▶を押して次のメニューに入り、▲または▼を使って選択します。「選択(Enter)」を押して選択を終了します。プロジェクタは、非選択状態の入力を検索しません。




### ソースロック

この機能がオフになっているとき、現在の入力信号が失われた場合プロジェクタは他の信号を検索します。この機能がオンになっているとき、指定された接続ポートを検索します。

# ユーザーコントロール

## 高海抜エリア

[オン] を選択すると高海抜エリアモードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高海抜エリアにおいてプロジェクタを適切に冷却します。

## オート　パワー　オフ

信号入力がない場合、システムが電源オフになる間隔を(分で)設定します。

RGBソース

HDTVソース

ビデオソース

## シグナル

- 位相：ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。
- トラキング：ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- 水平位置：水平位置を調整します。
- 垂直位置：垂直位置を調整します。
- ホワイト　レベル：S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。
- ブラック　レベル：S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。
- 色濃度：ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。◀を押すと画像の色の量が減少します。▶を押すと画像の色の量が増加します。

Note

ソースがHDMIまたはDVI-Dのとき、「シグナル」はサポートされません。

- 色合い：赤と緑のカラーバランスを調整します。◀を押すと画像の緑が強くなります。▶を押すと画像の赤が強くなります。
- Y Gain：Yのゲインを調整します。
- Pb Gain：Pbのゲインを調整します。
- Pr Gain：Prのゲインを調整します。
- Y Bias：Yのバイアスを調整します。
- Pb Bias：Pbのバイアスを調整します。
- Pr Bias：Prのバイアスを調整します。

色彩空間

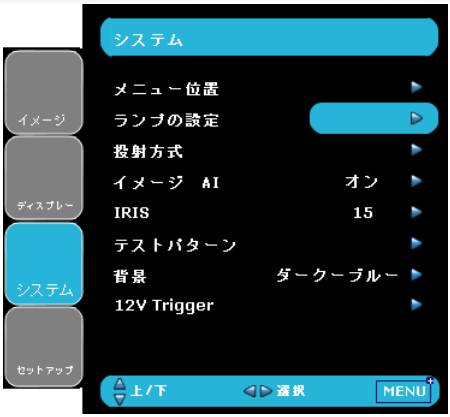
RGB または YPbPr から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

リセット

変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- カレント：現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。
- All：すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

# ユーザーコントロール




## システム

### メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

### 投射方式

- 正面-卓上

  工場出荷時はこれに設定されています。

- 裏側-卓上

  この機能を選択すると、透過スクリーンの裏側から投写できるように画像が反転します。

- 正面-天吊り

  この機能を選択すると、天井に取り付けたプロジェクタから投写することができるように画像の上下が反転します。

- 裏側-天吊り

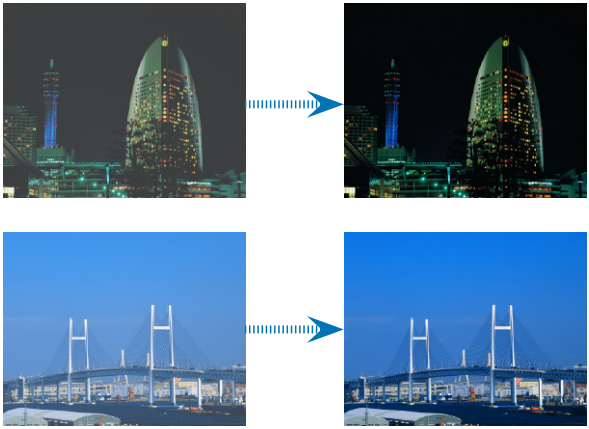
  この機能を選択すると、画像の上下左右が同時に反転します。これにより、天井に取り付けたプロジェクタを使って、透過スクリーンの裏側から投写することができます。

### イメージ AI

イメージ AI は、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

- オン：ダイナミック画像パフォーマンスマネージャがアクティブになっていると、映画のもっとも暗い細部まで明瞭に再現さ

れ、全編を通して鮮明で明るい画像パフォーマンスをお楽しみいただけます。



Note

イメージAIがオンを選択したら、ブライドモード機能は使用不能になります。

- オフ：ダイナミックなイメージパフォーマンスマネージャは、スタンバイ状態にあります。

## IRIS

IRIS 機能は、レンズ口径を開いたり閉じたりすることによってコントラストを光学的に調整されます。IRIS はオフ(閉じる)とオン(開く)を切り換えることができます。

IRIS ボタンを押すと、現在の設定が表示されます。設定が表示されている間このボタンを再び押すと、設定を変更できます。IRIS がオフ(0)状態およびオン(1-16)状態間で移動するには、約6秒かかります。

- 1-16: 1-16ステップが選択されているとき、イメージの黒いレベルがより明瞭に再現されますが、輝度は落ちます。調整できるステップは16あります。
- 0: 0が選択されているとき、イメージは明るくなります。

## テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、ホワイトパターンおよびなしの3パターンがあります。

## 背景

信号を使用できないとき、この機能を使用して「ダークブルー」、「黒」、「グレイ」または「スタート画面」画面を表示します。

## 12V Trigger

- 標準：「標準」が選択されている場合、プロジェクタがオンになっているとき12V Triggerからは12Vが送信されます。
- LBX：12Vトリガーが「LBX」として設定されているとき、
  1. フォーマットは「LBX」に変わり、12Vトリガーポートは12Vを送信します。
  2. フォーマットが「4:3」、「16:9」、または「Native」の場合、12Vトリガーポートは12Vを送信せず、0Vになります。

# ユーザーコントロール

## システム| ランプの設定

### ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

### ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

### ブライト　モード

「オン」を選択すると明るさが増します。「オフ」を選択すると通常モードに戻ります。

### ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

Note

イメージAIがオンを選択したら、ブライドモード機能は使用不能になります。

# 故障かなと思ったら

*プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。(詳細は、55ページをご参照ください)*

## 画像の問題

### ? スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「インストール」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクタランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクタの電源が入っているか確認してください。

### ? 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない

- リモコンまたはコントロールパネルで「再同期」を押します。
- PC使用時：

Windows 95, 98, 2000, XP:

1. 「マイコンピュータ」アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、「ディスプレー」アイコンをダブルクリックします。
2. 「設定」タブを選択します。
3. ディスプレー解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。(*)
4. 「詳細」ボタンをクリックします。

**それでもプロジェクタから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレーを変更する必要があります。次のステップをご参照ください。**

5. 解像度設定がUXGA (1600 x 1200)解像度以下であることを確認します。(*)

Note

(*) 解像度：このプロジェクタでは、HDMI's 1920 x 1080 i/pおよびコンポーネントの1920 x 1080 iを推奨します。

6. 「モニタ)」タブの「変更」ボタンを選択します。
7. 「全デバイス表示」をクリックします。次に、SPボックスで「標準モニタタイプ」を選択し、「モデル」ボックスで必要な解像度モードを選択します。
8. モニタディスプレーの解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。(*)

(*) 解像度:このプロジェクタでは、HDMI's 1920 x 1080 i/pおよびコンポーネントの1920 x 1080 iを推奨します。

- ノートパソコン使用時:

1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
2. 次に、トグル出力設定を押します。例:[Fn]+[F4]

| | | | |
|---|---|---|---|
| Compaq=> | [Fn]+[F4] | Hewlett Packard => | [Fn]+[F4] |
| Dell => | [Fn]+[F8] | | |
| Gateway=> | [Fn]+[F4] | NEC=> | [Fn]+[F3] |
| IBM=> | [Fn]+[F7] | Toshiba => | [Fn]+[F5] |

Mac アップル:
システム環境設定 --> ディスプレー --> 調整 --> ミラーディスプレー

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクタを含むすべての機器を再起動してください。

### ? ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない

- ノートパソコン使用時:

  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレー機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

### ? 画像が不安定またはちらつく

- 「トラキング」を使って修正してください。詳細は、38ページをご参照ください。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

### ? 映像に縦の縞模様が出る

- 「位相」を使って調整してください。詳細は、38ページをご参照ください。
- グラフィックカードのディスプレーモードがプロジェクタと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

### 画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクタと投写スクリーン間の要求される距離が1.5～12.0 m以内にあることを確認してください。詳細は24ページをご参照ください。

### 16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
LBXフォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレーフォーマットをセットアップしてください。

### 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- リモコンで「 4:3 4:3 」,「 16:9 16:9」,「 L LBX」, 「 N Native 」ボタンを、またはプロジェクタのパネルで[Menu]を押し、「ディスプレー --> フォーマット」をポイントします。別の設定を試みてください。

### 画像の両側が斜めになる:

- 可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- OSDから「ディスプレー-->垂直キーストン」を使用して調整を行います。

### 映像が反転する

- スクリーンメニューから「システム -->投射方式」を選択し、投写方向を調整してください。

## 中断の問題

### プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20秒待ってから電源を接続し直してください。

### ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(49ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。

## プロジェクタステータスに関する指示

### LEDの状態

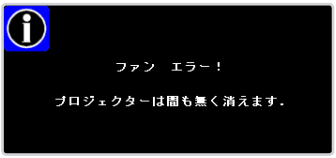
| メッセージ | 電源LED（赤） | 電源LED（青） | 温度LED | ランプLED |
|---|---|---|---|---|
| スタンバイ状態（電源コード接続済） | ☼ | ○ | ○ | ○ |
| 電源オン(ウォーミング) | ○ | 点滅 | ○ | ○ |
| 電源オンおよびランプの点灯 | ○ | ☼ | ○ | ○ |
| 電源オフ(冷却) | ○ | 点滅 | ○ | ○ |
| エラー（ランプトラブル） | ○ | ○ | ○ | ☼ |
| エラー（熱トラブル） | ○ | ○ | ☼ | ○ |
| エラー（ファントラブル） | ○ | ○ | ○ | 点滅 |
| エラー（過熱） | ○ | ○ | 点滅 | ○ |

Note

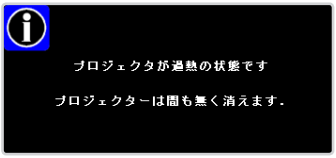
点灯 => ☼
消灯 => ○

### 警告メッセージ

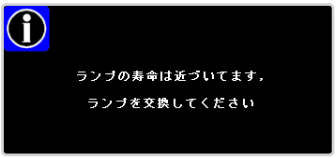
- ファン　エラー:



- 過熱：




- ランプの交換：



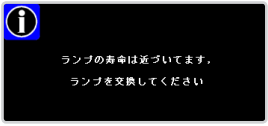

## リモコンの問題

**リモコンが作動しない場合、次を確認してください**

- リモコンの操作角度が約±22.5°になっていることを確認する。
- リモコンとプロジェクタのボックスの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタのボックスから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 電池残量がなくなっていないか確認する。残量がなくなっている場合、リモコンの電池を交換する。

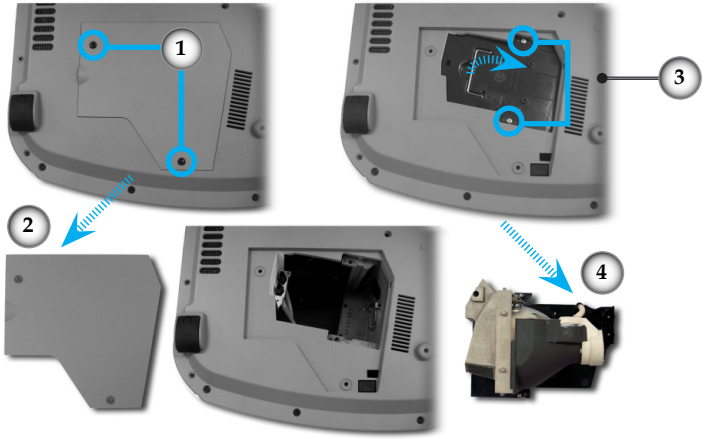
# ランプの交換

*プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。*




警告：ランプ周辺は高熱になっています！冷却するまでお待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。

*このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分冷却されるまで約30分お待ちください。*




**ランプ交換手順：**

1. 「電源」ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーに取り付けられているネジを、ドライバーで取り外します。❶
5. カバーを押し上げて取り外します。❷
6. ランプモジュールの2本のネジを取り外します。❸
7. ランプモジュールを引き上げます。❹

**ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。**

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。
   ランプリセット：(i)「Menu」を押し -> (ii)「システム」を選択し -> (iii)「ランプの設定」を選択し -> (iv)「ランプリセット」を選択し -> (v)[はい]を選択します。

警告：怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

## 互換モード

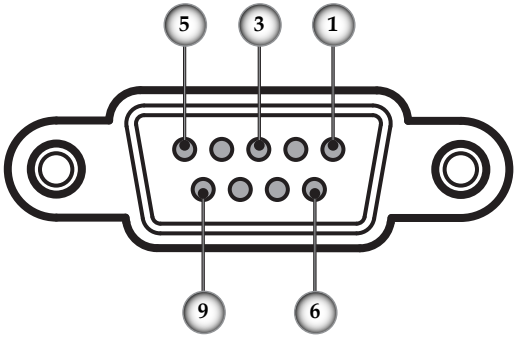
| モード | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) | アナログ | デジタル |
|---|---|---|---|---|
| VESA SVGA | 800 x 600 | 60 | × | ✓ |
| VESA SVGA | 800 x 600 | 72 | × | ✓ |
| VESA SVGA | 800 x 600 | 75 | × | ✓ |
| VESA XGA | 1024 x 768 | 60 | ✓ | ✓ |
| VESA XGA | 1024 x 768 | 70 | × | ✓ |
| VESA XGA | 1024 x 768 | 75 | × | ✓ |
| VESA XGA | 1024 x 768 | 85 | ✓ | × |
| VESA WXGA | 1280 x 720 | 60 | × | ✓ |
| VESA WXGA | 1280 x 768 | 60 | ✓ | × |
| VESA WXGA | 1280 x 768 | 72 | ✓ | × |
| VESA WXGA | 1280 x 768 | 85 | ✓ | × |
| HD | 1280 x 720 | 60 | ✓ | × |
| HD | 1280 x 720 | 72 | ✓ | × |
| VESA SXGA+ | 1400 x 1200 | 60 | ✓ | ✓ |
| VESA UXGA | 1600 x 1200 | 60 | ✓ | ✓ |
| * HD | 1920 x 1080 | 24 | × | ✓ |
| * HD | 1920 x 1080 | 60 | × | ✓ |
| * MAC | 1152 x 870 | 75.06 | ✓ | × |
| MAC G4 | 640 x 480 | 60 | ✓ | × |
| MAC G4 | 1024 x 768 | 75 | ✓ | × |

Note

注:「*」は圧縮コンピュータ画像です。

# RS232のコマンドとプロトコル機能リスト

## RS232ピン割り当て




| ピン番号 | 信号名 | I/O（プロジェクタ側） |
|---|---|---|
| 1 | NC | __ |
| 2 | RXD | 入力 |
| 3 | TXD | 出力 |
| 4 | NC | __ |
| 5 | GND | __ |
| 6 | NC | __ |
| 7 | NC | __ |
| 8 | NC | __ |
| 9 | NC | __ |

# RS232プロトコル機能リスト

インターフェイス: 9ワイヤーRS-232C
ボーレート: 115200

データビット: 8
パリティ: なし
停止ビット:1
フロー制御:なし

デフォルトの
"*000<CR" : 受信OK
"*001<CR>" : 無効なコマンド

ターミネータ:
<LF> = 0Ah = "\r"
<CR> = 0Dh = "\n"

| 表示形式 | コマンド | ターミネータ 1<br>ターミネータ 1 | ターミネータ 2<br>ターミネータ 2 | サイレンス/OSDモード<br>SILN | 設定/取得<br>s/g | 機能の説明 | ACK |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| OKOKOKOKOK | OKOKOKOKOK | <CR> | <LF> | -- | s | 電源オン | デフォルトのACK |

| 表示形式 | HEADB | ADDRB | COMHB | COM | ターミネータ 1<br>TERM1 | ターミネータ 2<br>TERM2 | サイレンス/OSDモード<br>SILN | 設定/取得<br>s/g | 機能の説明 | ACK |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ヘッダ | 空白<br>アドレスコード | 空白<br>コマンドヘッダ | 空白<br>コマンド | | | | | | |
| * 0 IR 002 | * | 0 | IR | 002 | <CR> | | -- | s | 電源オフ時 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 008 | * | 0 | IR | 008 | <CR> | | O | s | Menu | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 009 | * | 0 | IR | 009 | <CR> | | O | s | 上 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 010 | * | 0 | IR | 010 | <CR> | | O | s | 下 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 011 | * | 0 | IR | 011 | <CR> | | O | s | 右 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 012 | * | 0 | IR | 012 | <CR> | | O | s | 左 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 013 | * | 0 | IR | 013 | <CR> | | O | s | Enter | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 014 | * | 0 | IR | 014 | <CR> | | -- | s | ソース | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 015 | * | 0 | IR | 015 | <CR> | | -- | s | Re-Sync（再同期） | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 016 | * | 0 | IR | 016 | <CR> | | -- | s | ソース: DVI_Digital | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 017 | * | 0 | IR | 017 | <CR> | | -- | s | ソース: HDMI 1 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 018 | * | 0 | IR | 018 | <CR> | | -- | s | ソース: コンポジットビデオ | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 019 | * | 0 | IR | 019 | <CR> | | -- | s | ソース: S-Video | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 020 | * | 0 | IR | 020 | <CR> | | -- | s | ソース : DVI_Analog | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 025 | * | 0 | IR | 025 | <CR> | | -- | s | 縦横比 16:9 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 026 | * | 0 | IR | 026 | <CR> | | -- | s | 縦横比 4:3 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 027 | * | 0 | IR | 027 | <CR> | | O | s | 縦横比レターボックス | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 028 | * | 0 | IR | 028 | <CR> | | O | s | 縦横比 1:1 | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 030 | * | 0 | IR | 030 | <CR> | | S | s | ソースロックオン | デフォルトの ACK |
| * 0 IR 031 | * | 0 | IR | 031 | <CR> | | S | s | ソースロックオフ | デフォルトの ACK |

| 表示形式 | HEAD | BLANK | ADDR | BLANK | COMH | BLANK | COM | TERM1 | TERM2 | SILN | s/g | 機能の説明 | ACK |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ヘッダ | 空白 | アドレスコード | 空白 | コマンドヘッダ | 空白 | コマンド | ターミネータ 1 | ターミネータ 2 | サイレンス/OSDモード | 設定/取得 | | |
| * 0 IR 035 | * | | 0 | | IR | | 035 | <CR> | | -- | s | 輝度 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 036 | * | | 0 | | IR | | 036 | <CR> | | -- | s | コントラスト | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 037 | * | | 0 | | IR | | 037 | <CR> | | -- | s | 色合い | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 038 | * | | 0 | | IR | | 038 | <CR> | | -- | s | カラー | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 039 | * | | 0 | | IR | | 039 | <CR> | | -- | s | イメージシフト上 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 040 | * | | 0 | | IR | | 040 | <CR> | | -- | s | イメージシフト下 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 041 | * | | 0 | | IR | | 041 | <CR> | | -- | s | モード | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 042 | * | | 0 | | IR | | 042 | <CR> | | -- | s | エッジマスク(オーバースキャン) | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 043 | * | | 0 | | IR | | 043 | <CR> | | -- | s | オーバースキャン(ズーム) | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 046 | * | | 0 | | IR | | 046 | <CR> | | O | s | キーストーンシフト上 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 047 | * | | 0 | | IR | | 047 | <CR> | | O | s | キーストーンシフト下 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 048 | * | | 0 | | IR | | 048 | <CR> | | O | s | イメージシフト左 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 049 | * | | 0 | | IR | | 049 | <CR> | | O | s | イメージシフト右 | *デフォルトの ACK* |
| * 0 IR 050 | * | | 0 | | IR | | 050 | <CR> | | -- | s | ソース: HDMI 2 | *デフォルトの ACK* |

| 表示形式 | HEAD | BLANK | ADDR | BLANK | COMH | BLANK | COM | TERM1 | s/g | 機能の説明 | 復帰 | 注 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ヘッダ | 空白 | アドレスコード | 空白 | コマンドヘッダ | 空白 | コマンド | ターミネータ 1 | 設定/取得 | | | |
| * 0 IR 801 | * | | 0 | | IR | | 801 | <CR> | g | ランプ時間の取得 | *002 xxxxx | xxxxxの範囲は<br>0 <-> 99999 |
| * 0 IR 802 | * | | 0 | | IR | | 802 | <CR> | g | ビデオソースの取得 | *003 xx | Xxは以下を意味します<br>00 : ソースなし<br>01 : DVI_Digital<br>02 : HDMI 1<br>03 : コンポジットビデオ<br>04 : S-Video<br>05 : DVI_Analog<br>06 : コンポーネントビデオ<br>07 : HDMI 2<br>08 : テスト |
| * 0 IR 803 | * | | 0 | | IR | | 803 | <CR> | g | ランプステータスの取得 | *004 xx | Xxは以下を意味します<br>00 : ブライトモードオフ<br>01 : ブライト　モード |
| * 0 IR 804 | * | | 0 | | IR | | 804 | <CR> | g | プロジェクタステータスの取得 | *005 xx | Xxはプロジェクタが以下の状態であることを意味します<br>00 : スタンバイモード<br>01 : 電源オン<br>03: 冷却オンまたは冷却オフ<br>04: ランプエラー<br>05: 熱エラー |

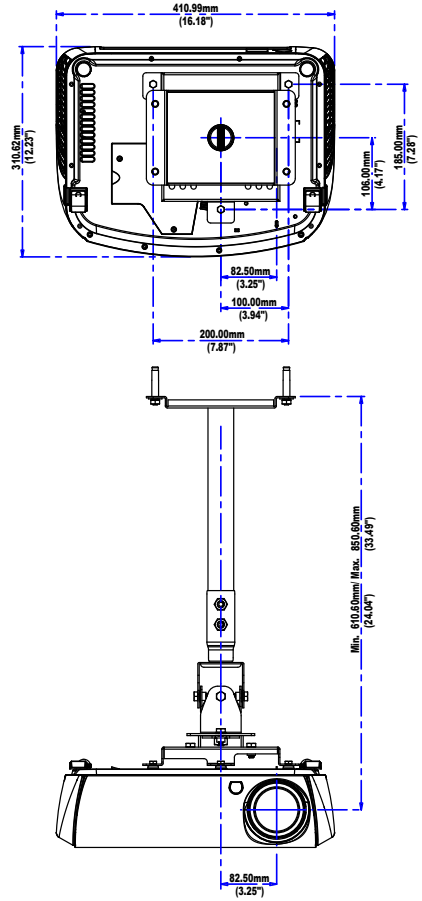
# 天井への取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ず天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
   - **ネジの種類: M4**
   - **最大ネジ長 : 10mm**
   - **最小ネジ長 : 8mm**

Note

プロジェクタを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

警告:
1. 天吊り用キットを他社からご購入された場合は、プロジェクタの底面を、最低でも10cm以上天井から離して設置してください。
2. エアコン、ヒーターなどの熱を発する機器から離して設置してください。熱源の近くに設置した場合は、プロジェクタが過熱し自動的に電源が切れる可能性があります。
3. 天吊り用キットは金属またはコンクリートに取り付ける必要があります。



# Optoma 社 お問い合わせ先

*サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。*

## アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optomausa.com

Tel : 408-383-3700 (English/French)
Fax: 408-383-3702
メールアドレス : service@optoma.com

## カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, Canada
www.optoma.ca

Tel : 905-361-2582
Fax: 905-361-2581

## ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
Tel : +44 (0) 1923 691 800
Fax: +44 (0) 1923 691 888
www.optoma.eu
カスタマーサービス TEL : +44 (0)1923 691865
メールアドレス : service@tsc-europe.com

## France

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

Tel : +33 1 41 46 12 20
Fax: +33 1 41 46 94 35
メールアドレス : savoptoma@optoma.fr

## Spain

Paseo de la Castellana
135 7 Planta
Madrid, Spain

Tel : +34 91 790 67 01
+34 91 790 67 02
Fax: + 34 91 790 68 69

## Deutschland

Werftstrasse 25
D40549 Düsseldorf,
Germany

Tel : +49 (0) 211 506 6670
Fax: +49 (0) 211 506 66799
メールアドレス : info@optoma.de

## Scandinavia

Grev Wedels Plass 2
3015 Drammen
Norway

Tel : +47 32 26 89 90
Fax: +47 32 83 78 98
メールアドレス : info@optoma.de

## 南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br

Tel : 408-383-3700
Fax: 408-383-3702
www.optoma.com.mx

# 付録

## 台湾

231,台北縣新店市民權路108號5樓
R.O.C.
電話：+886-2-2218-2360
服務處：services@optoma.com.tw

傳真：+886-2-2218-2313
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com

## 香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan Kowloon, Hong Kong
Tel : +852-2396-8968
www.optoma.com.hk

Fax: +852-2370-1222

## 中国

上海市长宁区凯旋路1205号5楼
邮编: 200052
www.optoma.com.cn

电话：+86-21-62947376
传真：+86-21-62947375

## 日本

東京都足立区綾瀬 3-25-18
オーエス本社ビル
E-Mail: info@osscreen.com

サポートセンター:0120-46-5040
http://www.os-worldwide.com/

## 韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Nonhyun-Dong,
Kangnam-Ku, seoul, 135-815, KOREA

Tel : +82+2+34430004
Fax: +82+2+34430005

# 規制と安全に関するご注意

*この付録では、プロジェクタの一般的注意事項を一覧表示しています。*

## *FCC 通知*

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。 本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。 本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします:

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

### *通知: シールドされたケーブル*

他のコンピュータデバイスへの接続はすべて、シールドされたケーブルを使用して FCC 規制への準拠を守る必要があります。

### *注意*

FCC 準拠に責任を持つ製造元からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

## 動作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

1.電波障害を起こさないこと、
2.誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

## *通知: カナダのユーザー*

このクラス B のデジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

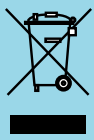
## *Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens*

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

## 欧州連合諸国の場合の準拠声明

- EMC指令89/336/EEC(修正案を含む)
- 低電圧指令73/23/EEC(93/68/EECによって修正)
- R & TTE 指令1999/EC(製品にRF機能が搭載されている場合)

## 廃棄に関する指示



この電子装置を廃棄するとき、ゴミ箱に捨てないでください。 汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、この製品をリサイクルしてください。